

会 議 録	
会 議 名	令和2年度 第1回 丸亀市未来を築く地域戦略会議
開催日時	令和2年12月17日(木) 15:00~17:10
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p><b>出席委員</b> 原 真志、久富 啓至、高木 和代、佐藤 国夫、相原 しのぶ、佐久間 知恵 西川 真智子、三谷 幸代、高木 明美、岩崎 正朔、塩田 覚、伊藤 智也 大久保 翔太、岡崎 英幸、宮本 龍河</p> <p><b>欠席委員</b> 漆原 光徳、中村 優、香川 佐知子、菅 弘、原 彩乃</p> <p><b>事務局</b> 市長公室長 横田 拓也 (秘書政策課) 課長 窪田 徹也、副課長 谷本 智子 政策推進担当長 宇野 大志郎、主任 大川 智 市民生活部 (生活環境課) 副課長 山田 健司 都市整備部 (都市計画課) 計画担当長 石川 真司 産業文化部 (産業観光課) 副課長 古賀 亮次</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1期丸亀市未来を築く総合戦略 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生推進交付金関連事業について</li> <li>・重要業績評価指標 (KPI) について</li> </ul> </li> <li>2. 第2期丸亀市未来を築く総合戦略 <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市人口ビジョン(令和2年改訂版)について</li> <li>・第2期丸亀市未来を築く総合戦略について</li> </ul> </li> <li>3. その他</li> </ol>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただ今より、令和2年度第1回丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会いたします。 それではまず、皆さまに市長から委嘱状を交付いたします。</p> <p>(市長より委嘱状の交付)</p>
窪田課長	<p>ここで、梶市長より皆さまにご挨拶を申し上げます。</p> <p>(梶市長より挨拶、公務により市長退席)</p>

窪田課長	次に、委員の皆さまに一言ずつ自己紹介をお願いします。  (委員自己紹介)
窪田課長	次に、事務局の職員を紹介させていただきます。  (事務局職員紹介)
窪田課長	次に、本会議の趣旨などについて、事務局より説明させていただきます。
大川	(資料に基づき説明)
窪田課長	次に「会長及び副会長の選任について」であります。丸亀市附属機関設置条例第6条において「附属機関に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選により定める」と規定されておりますが、いかがでしょうか。
高木明美委員	事務局の方でご意見はありますか。
窪田課長	事務局といたしましては、会長を原委員に、副会長を佐藤委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。  (異議なしとの声)
窪田課長	原委員、佐藤委員におかれましては、ご了承いただけますでしょうか。  (了 承)
窪田課長	それでは、原会長、佐藤副会長は、会長席、副会長席に移動願います。  (席移動)
窪田課長	改めまして、原会長、佐藤副会長より、ご挨拶をいただきたいと思います。  (原会長、佐藤副会長挨拶)
窪田課長	ありがとうございました。それでは、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定により、ここからの議事進行につきましては、原会長にお願いしたいと思います。
原会長	それでは、会議を進めさせていただきます。なお、本日の会議でございますが、現

	<p>在、委員総数 20 名中、15 名出席であり、過半数を満たしておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定により会議は有効に成立しておりますことを、ご報告させていただきます。</p> <p>本日の議事は、「(1)第 1 期丸亀市未来を築く総合戦略」、「(2)第 2 期丸亀市未来を築く総合戦略」、「(3)その他」の 3 件であります。</p> <p>まず、「(1)第 1 期丸亀市未来を築く総合戦略」のうち、「地方創生推進交付金関連事業について」、事務局より説明をお願いします。</p>
大川	(資料に基づき説明)
伊藤委員	KPI は、成果目標を達成するための指標だと思いますが、この地方創生推進交付金事業は、成果目標を達成するためにどのような貢献をしたと考えますか。
窪田課長	第 1 期総合戦略の評価指標に係る内容となりますので、次の「重要業績評価指標 (KPI) について」でご説明いたします。
原会長	<p>私の所属する香川大学大学院が 9 月に実施した合宿授業で、本交付金を活用して整備された広島施設の施設を利用させていただいたところ、非常に設備が整っている印象を受けました。</p> <p>KPI で「島外からの施設利用者数」を設定していますが、島内住民の利用状況はいかがでしょう。</p>
山田副課長	主に地域の運動会や文化祭などに利用するとともに、来島された方との交流の場として活用しています。
原会長	<p>島内外の人たちが交流できる場として、活用していただければと思います。</p> <p>次に、地域商社が販売している商品の特徴などについて教えてください。</p>
古賀副課長	しょうゆ豆など、既存の商品のパッケージデザインを改良した商品や骨付鳥をカッティングした商品などを販売しています。中でも、塩飽諸島の 1 つである手島で栽培した香川本鷹を用いた商品の人気が高いと、地域商社事業を実施した株式会社 OIKAZE の方から伺っております。
原会長	香川本鷹を用いた商品の人気が高いとのことですが、具体的にどのように工夫したことで売れ行きが良くなったのか、参考までに教えてください。
古賀副課長	モノが良くてもデザインが良くなければ消費者の手にとってもらえないので、東京のデザイナーに依頼し、商品のパッケージをデザイン性の高いものにしたほか、商品の容量などについても改良を重ねたことが、売上につながったと考えております。

原会長	株式会社 OIKAZE の代表取締役を務める相原委員から補足の説明はありますか。
相原委員	デザイン性だけではなく、どことコラボして商品開発を進めていくかが重要であると感じています。これまで、四国水族館のキャラクターや猪熊作品を用いた商品を大手事業者とコラボし、商品開発を行いました。特に、猪熊作品を用いた商品については、直近の丸亀市ふるさと納税返礼品ランキングで1位を獲得するなど、丸亀市のPRにも寄与していると思います。
原会長	コラボ先は相原委員が選定していますか。
相原委員	社内で検討し、選定しています。
塩田委員	広島に移住された方と知り合い、自宅にご招待いただいたところ、きれいな建物で驚きました。このような移住者向けのきれいな物件は、広島にまだありますか。
山田副課長	物件の情報についてはこの場に持ち合わせていませんが、空き家を利用したいという相談は複数件受けております。
岡崎委員	新型コロナウイルス感染症の影響で四国水族館のオープンが延期になったと聞きましたが、オープンはいつ頃になりますか。
古賀副課長	6月にオープンしています。
原会長	それでは、他にご意見もないようですので、次に「重要業績評価指標（KPI）について」事務局より説明をお願いします。
大川	(資料に基づき説明)
原会長	伊藤委員からの、「地方創生推進交付金事業が成果目標にどのように貢献したのか」という質問の回答はいかがでしょうか。
窪田課長	「旧広島中学校整備事業」は、基本目標4「安心を高める」の成果目標である「現在、困りごとや不安が特にないと答えた人の割合」に、「リノベーションまちづくり推進事業」と「地方創生推進地域商社事業」は、基本目標2「社会増を目指す」の成果目標である「社会増減数（累計）」に寄与するものと考えています。
原会長	「旧広島中学校整備事業」で設定されている KPI を確認すると、基本目標2「社会増減数（累計）」に関わる内容に思えますが、交付金事業の KPI と成果目標の整合性について、どのように理解すれば良いでしょうか。

窪田課長	「旧広島中学校整備事業」では、市民センターやコミュニティセンター、消防屯所の機能を有する複合施設を整備し、公共性を高める事業となりますので、基本目標4「安心を高める」に位置付けています。
原会長	目標項目の「コミュニティセンター利用者数」に関わってくるということですか。
窪田課長	利用者数に限った話ではありません。
伊藤委員	施設を整備することにより、交流を促進し、ソーシャルキャピタルを備えることで成果目標につながると理解いたしました。 関連して、「現在、困りごとや不安が特にないと答えた人の割合」が目標値に達していませんが、総括する上で、どのKPIが成果目標に寄与したと考えますか。
窪田課長	基本目標4の成果目標につきましては、アンケート調査の結果となっています。ここでは、困りごとや不安がない方を少なくしようと、4つの基本施策に取り組んでまいりましたが、社会的な変化に少し取組が追い付いていないのか、目標値に達しない結果となりました。第2期戦略につきましては、成果目標を「転出者数（累計）」に変更し、引き続き少子高齢化対策や地方創生などに取り組んでまいります。
大久保委員	市HPの移住定住ページのアクセス件数について、2019年度の目標値を30,000件に設定した理由を教えてください。
窪田課長	移住のHPは第1期戦略の策定と同時期に制作したもので、未知数のところもあり、30,000件を目指すという目標として設定しました。
大久保委員	アクセス数の実績値が毎年ほぼ横ばいとなっていますが、目標値に達しなかった要因を教えてください。
大川	移住のHPを修正しようとする、その都度費用がかかってくることから、新着情報の更新などの情報発信しかできていないことが要因にあげられます。このことから、令和2年度の改修では、インフォグラフィックスを用いた新たなページを作成し、アクセス件数が増えるよう取り組んでいるところです。
大久保委員	改修後の推計値があれば教えてください。
大川	移住のHPのアクセス件数につきましては、第2期戦略のKPIにも引き続き設定しており、2024年度の目標値を9,000件としています。
宮本委員	大久保委員に関連してですが、HP外にリンクを貼るなど、移住希望者にHPを見て

	<p>いただける工夫はされていますか。</p>
大川	<p>移住施策に関しましては、香川県全体で推進していますので、香川県の移住のHPにリンクを貼り付けています。</p> <p>また、丸亀市のHPのトップページに掲載しているキービジュアルにリンクを貼り付けるほか、家賃補助などの補助制度を掲載するページと移住のページを関連付けるなどの工夫も行っています。</p>
宮本委員	<p>全国規模の移住サイトやSNSを活用した情報発信は行っていますか。</p>
大川	<p>参加する移住フェアのHPへの掲載のほか、移住関連事業者からHPや雑誌への無料掲載などの提案がありましたら、積極的に掲載するよう努めています。</p>
岡崎委員	<p>コミュニティバスについて、体にハンデのある人が快適に利用するために、車いすのスペースをもう少し確保していただきたいです。</p>
石川	<p>コミュニティバスにつきましては、低床バスをほとんどの車両で導入し、障がい者や高齢者の方に配慮しているところです。いただいたご意見について、すぐに対処することは難しいですが、運行事業者と相談しながら検討させていただきたいと思いません。</p>
宮本委員	<p>ワーク・ライフ・バランスの推進で、「男性の育児休業を取得した人の割合」が、目標値15%以上に対して、3.8%となっています。育児休業を取得した男性社員がいる中小企業に対して奨励金を出す補助制度を実施していると思いますが、その成果について教えてください。</p>
大川	<p>補助制度について、中小企業に努める男性社員が連続7日以上育児休業を取得する要件が厳しく、申請件数が伸び悩んでいたと聞いています。そこで、令和2年度に、連続5日以上と要件を緩和したことから、この奨励金を活用する中小企業が増えるのではないかと期待しているところです。</p>
西川委員	<p>男性の育児休業について、民間企業ではどのくらい取得していますか。</p>
窪田課長	<p>市民向けアンケートの調査結果としては、3.8%となっています。</p>
相原委員	<p>丸亀市は住みやすいまちとして上位にランクインされていると思いますが、私の知人から聞いたところ、空き家バンクの登録件数が周辺の市町に比べ非常に少ないなど、移住に関する情報が不足していると聞きました。情報発信をしている内容に対する課題や、その課題への対策について教えてください。</p>

窪田課長	<p>移住のHPに関しましては、令和2年度に移住者が見たいであろうデータを掲載するよう改修をいたしました。空き家バンクにつきましては、香川県と連携し、県のHPに物件を掲載していることから、すぐに改善とはいきませんが、ご意見を賜りながら取り組んでまいりたいと思います。</p>
原会長	<p>移住希望者の目線に立った情報発信が必要ではないかという、相原委員のご意見でした。移住希望者は最初から移住先をピンポイントで選んでいる訳ではなく、瀬戸内など、大体の情報で地域を選び、移住フェアなどで得た情報をもとに移住先を絞り込んでいくと聞いたことがあります。移住希望者の目線に立ち、どのような状況でどのような情報を発信することが大切なのか、そのプロセスを追求し、HPへ掲載する情報をチェックしていただき、KPIを達成していただければと思います。</p>
岡崎委員	<p>体にハンデのある人が、結婚や子育てをしたいと思える環境整備を行う取組はありますか。</p>
窪田課長	<p>KPIを達成する取組といたしましては、令和2年度から結婚新生活支援事業を始め、若い世代が結婚に伴う新生活をスタートするための補助事業を実施しています。ご質問のハンデのある方に関しましては、健康福祉部が各種支援制度を行っていますので、ご活用いただければと思います。</p>
岡崎委員	<p>丸亀市の障がい者雇用を増やすための取組について教えてください。</p>
窪田課長	<p>丸亀市では、国の定める法定雇用率2.5%を達成するために、障がい者の採用枠を設け、雇用に取り組んでいます。現在では、法定雇用率を達成しているところです。</p>
原会長	<p>他にご意見もないようですので、「(2)第2期丸亀市未来を築く総合戦略」のうち、「丸亀市人口ビジョン(令和2年改訂版)について」、事務局より説明をお願いします。</p>
大川	<p>(資料に基づき説明)</p>
原会長	<p>人口減少が緩やかになった要因について教えてください。</p>
宇野	<p>結果的な話になりますが、丸亀市の場合、自然減を社会増が上回ったというのが総括です。</p>
原会長	<p>社会増の要因はありますか。</p>
窪田課長	<p>第1期総合戦略で取り組んだ1つひとつの取組が成果に結びついたらと、市としては考えているところです。</p>

原会長	<p>転入・転出の傾向について、地域別のグラフから県内からの移住が多いように見受けられ、県内でパイを取り合っている状況にあると言えます。この社会増の結果が、本当にサステイナブルな成長なのかどうか、しっかりと見極め、対策を議論することが生産的であると考えます。</p>
宇野	<p>香川県内で言いますと、社会増となっているのが、高松・丸亀・宇多津の2市1町に限られていることから、県内でのコンパクトシティ化が進み、サステイナブルな成長につながっていないと考えられます。コロナ禍で地方への移住が注目されている現状において、第2期戦略につきましても、社会増を目指す施策に継続して取り組むことが必要であると思います。</p>
原会長	<p>現状は他市町からの流入が多いとしても、長期的な計画としては県外からの移住者をどう取り込むか考え、戦略を立てる必要があると思います。</p>
塩田委員	<p>丸亀市では、新しいマンションが建設されるとともに、宅地化も進んでおり、一見すると人口が増えているように見受けられますが、人口が減少し、県内で同じパイを取り合っているという理解でよろしいでしょうか。</p>
窪田課長	<p>県内で同じパイを取り合っている状況については、県内市町と共通の認識を持っていることから、県内全市町が加盟する協議会を設立し、県下で移住施策に取り組んでいるところです。令和元年度からは従来の移住者に対する家賃補助制度に加え、東京一極集中の是正を目的に東京圏からの移住者に対する補助制度を設けています。</p>
伊藤委員	<p>私自身も20代でUターンしてきた一人ではありますが、転入してきた方に対し、転入した動機などを聞く調査を行っていますか。</p>
大川	<p>転入届を出していただいた際に、アンケート用紙を渡しており、その回答結果を把握しています。</p>
伊藤委員	<p>アンケートの傾向を教えてください。</p>
大川	<p>アンケート内容としましては、どこから来たかという質問から始まり、丸亀市を選んだ決め手などの質問項目を設けています。</p>
伊藤委員	<p>その転入の理由がポジティブなのかネガティブなのか、また、移住してどうだったか追跡調査を行うことで、より良い施策につながると思います。</p>
大川	<p>参考にさせていただきます。</p>

高木明美委員	<p>保育所の入所者数の増加や結婚・出産の年齢の上昇など、昔と比べて社会や家庭の状況が変化してきていると思います。このことから、子育てと介護の時期が重なるダブルケアや高齢者の移動手手段の確保など、様々な問題が生まれてくると考えられます。各世代が持つ問題について考え、対策を練り、施策を実行することが大切だと思います。</p>
窪田課長	<p>社会情勢が変化し、市民のニーズが多様化しているといった認識は、私どもも同様です。中でも、移動手手段の確保に関しましては、互助の移動手手段を確保するための、「高齢者移動支援事業」の実証実験について、4地区のコミュニティが取り組んでいるところです。今後につきましても、社会やニーズの変化を捉えた事業に努めてまいります。</p>
原会長	<p>他にご意見もないようですので、「第2期丸亀市未来を築く総合戦略について」、事務局より説明をお願いします。</p>
大川	<p>(資料に基づき説明)</p>
高木和代委員	<p>綾歌町では、延長保育をしている保育所がありませんので、実施していただけるようお願いいたします。隣の綾川町はすべての保育所で延長保育を実施しています。</p>
窪田課長	<p>ご意見については、担当課にお伝えいたします。</p>
佐久間委員	<p>ワーク・ライフ・バランス通信登録における「民間などへの啓発、支援」の内容について教えてください。</p>
大川	<p>補助制度や講演会の情報、ワーク・ライフ・バランスの推進に係る情報をメルマガで情報発信したり、産業観光課の企業訪問員が企業を訪問する際、通信登録を促すこととしております。</p>
岩崎委員	<p>「コミュニティセンター利用者数」がKPIに設定されていますが、これは受け身の指標で、生涯学習活動のセンター利用者数がほとんどを占めています。各コミュニティでは、防災や健康増進など、それぞれが抱える地域課題を自主的に解決するために、コミュニティセンターを拠点とした打って出る施策に取り組んでいます。第2期戦略では、この打って出る施策を重点的に検証していく方が、基本目標4「安心を高める」につながるのではないかと思います。</p>
窪田課長	<p>各コミュニティでは、地域の皆さま自身で、自分たちのまちづくり計画を策定し、地域に合った施策に取り組んでいただいております。市としてもその施策を支援し、一緒にまちづくりに取り組んでまいりたいと考えています。</p>

原会長	<p>コミュニティセンター利用者数を把握する上で、打って出る施策がどれだけあり、KPI にどのように反映しているか確認することも重要であると思います。進行管理をするに当たり、補足の情報を追記するようお願いします。</p>
伊藤委員	<p>SDGs との関係性ですが、基本施策にアイコンがついただけという印象を受けました。SDGs には 169 のターゲットがあるので、それに基づいた評価を PDCA で確認していくといった方法もあると思います。</p> <p>また、健康寿命の延伸を推進するために、スポーツや保健に関するセクションが連携し取り組んでいくと思いますが、自然と市民が体を動かし、健康づくりができるまちづくり「ウォーカービリティ」について、都市計画の面から検討してはいかがでしょうか。</p>
宇野	<p>都市計画の面から申し上げますと、歩いて暮らせるまちづくりということで取組を進めていますが、担当課を含めて検討します。</p>
原会長	<p>他にご意見もないようですので、最後に議事の 3「その他」について事務局より何かありますか。</p> <p>(特になし)</p>
原会長	<p>他に委員より何かありましたらお願いします。</p> <p>(特になし)</p>
原会長	<p>特にないようですので、以上をもちまして、本日の会議を終了します。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>